

学校における危機管理マニュアル（羽根小版）

事象「ミサイルへの対応」

Jアラート

Jアラートが鳴ってからミサイル通過まで、約5分。
この間(約4分)に何ができるか。何の時間(授業・放課?)か…。
学校施設によって、できることが違う。【避難計画参照】

在校時

緊急放送
(職員室にいる先生)

- 授業等
教職員誘導で
- 放課後
児童生徒自身で

教室：机の下に入る
カーテンを閉める

着弾



近くに着弾
・換気扇を止める
・目張りをして、室内密閉
※弾頭の種類により対応が異なる
→情報収集、市教委が指示

- 事故対応
・応急手当
・けが人等の確認
(状況により異なる)
- 市教委からの
指示

体育館：校舎に入り頭を守る
(机の下に入りたい)

着弾
なし



運動場：校舎に入り頭を守る
(机の下に入りたい)

Jアラート
「通過しました」など

放送：授業・給食等→再開
放課等→教室等
*けが・ショックのチェック

登下校時

Jアラート発動が分かったら
近くの建物に入る
なければ、物陰に身を隠す
または、地面に伏せ頭を守る

上級生は下級生を守るように指導する

着弾



・口・鼻をハンカチで押さえる
・建物の中や地下・地下道へ避難
(窓から離れる)
・風上へ避難
※けがなどの場合
→近くの人に助けを呼んでもらう

着弾
なし



防災放送
「通過しました」など

学校・自宅へ

※けがなどがなければ
学校等の避難所・自宅へ

始業前

登校前の児童は自宅待機

Jアラート
「通過しました」など

学校からのメール配信で
登校する

【事前にやっておくこと】

指導：Jアラートの音を聞かせて、判断できるようにする。
在校中は校舎内で、(机の下で) 頭を守る。
登下校時は建物の中や地下(道)に避難し、待機する。
屋外では物陰に身を隠すか、伏せて頭を守る。
着弾した場合、ハンカチで口・鼻を押さえる。
上級生は下級生を守るよう指導する。(特に登下校時
など、校外では一緒に連れて行くようにしたい)

学校：臨時休業になるかどうか、市教委と協議しておく。